

岡山の美術 特集  
Special Display of Permanent Exhibition

# 佐藤一章 SATO Isshō

2022年7月16日(土)－8月28日(日)  
SAT 16 JUL – SUN 28 AUG 2022

主催／岡山県立美術館

開館時間／9:00～17:00

7月30日(土)と8月27日(土)は19:00閉館(入館は閉館30分前まで)

休館日／月曜日(7月18日と8月15日は開館、7月19日は閉館)

観覧料／一般350円、\*大学生250円、\*65歳以上の方170円、\*高校生以下無料  
(\*学生証、年齢を確認できる証明書をご持参ください)

キャンパスメンバーズの学生は無料 障がい者手帳持参者とその介護者1名は無料

会場／2階展示室

※2階展示室で併催する岡山の美術「倉敷・大原家伝来 浦上玉堂コレクション受贈記念特別展示」もご覧いただけます。

※7月23日から開催する特別展「かこさとしの世界展」の観覧券でもご覧いただけます。



《大歩危》1953



《背面裸婦》1929





《静物》1950



《陶工》1933

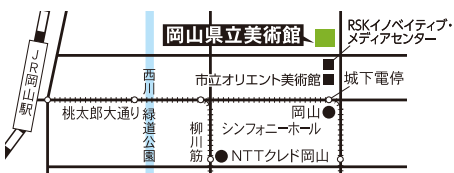


《母と子》1942

[交通案内]

JR岡山駅後楽園口(東口)から  
 徒歩 約15分  
 路面電車 東山行「城下」下車 徒歩3分  
 岡電バス 後楽園、藤原団地行き「天神町」  
 下車すぐ  
 宇野バス 四御神/瀬戸駅/片上方面行き  
 「表町入口」下車 徒歩3分

※ご来館の際は、できる限り公共交通機関をご利用ください。



 **岡山県立美術館**  
 OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒700-0814 岡山市北区天神町8-48  
 Tel. 086-225-4800 Fax 086-224-0648  
<https://okayama-kenbi.info/>

※新型コロナウイルス感染症対策のため、会期と内容が変更になる場合があります。当館ホームページをご確認ください。

いっしゅう  
 佐藤一章(1905-1960)は現在の矢掛町に生まれました。24年に矢掛中学校を卒業したのち上京し、東京美術学校西洋画科に入学します。在学中の27年には、第8回帝国美術院美術展覧会で作品が初入選するなど、評価を得ました。29年に卒業後、32年には美術団体東光会の会員になり、中心的な会員として活動します。

45年に疎開のため帰岡し、55年まで岡山県で制作活動を続けました。50年から岡山大学教育学部の教授になります。53年には同学部に特設美術科が新設され、佐藤はこの特設美術科の主任教授を務めました。

画業当初は女性像や裸婦に取り組みます。のちに職人である《陶工》(1933)と《指物師》(1945)、また《漁夫》(1938)や《麦秋の頃》(1948)に描かれた農民のように、同時期の働く日本人を取り上げました。そして《御堂の雪》(1948)や《大歩危》(1953)などでは、柔和な色調で、また勢いのある筆遣いで、日本の農村と自然の風景を描き続けます。

上記6点を含めて、館蔵の油彩画全28点のほか、新たな寄託品である素描と日記帳を取り上げる展覧会です。そして母方の叔父である三宅円平(1894-1941)の作品と、2人が師事した満谷国四郎(1874-1936)の作品をあわせて紹介します。

関連事業(要観覧券)

学芸員によるギャラリートーク

講師 廣瀬就久(主任学芸員)

7月24日(日) 14:00-14:30 2階展示室



《御堂の雪》1948

すべての掲載画像は佐藤一章の作品で岡山県立美術館の所蔵品です。